

平成22年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	36		学校名	県立常北高等学校			課程	全日制		学校長名	堂 英 夫					
教頭名	宮 田 和 志									事務(室)長名	坂 場 政 己					
教職員数	教諭	12	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	4	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	3	計	29
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計	クラス数		
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		45	24	29	18	34	16			108	58	166	6		
	科															

2 目指す学校像

創立以来47年の歴史と伝統に基づき、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	高校生の基礎学力向上が、落ち着いた学習内容が残す生徒が多い。	教員の授業力向上を図り、基礎学力の定着を図る。授業の実践と生徒の達成感を与える。
進路指導	平成21年度の進路状況（卒業生27名）は、進学7名、就職18名、未定2名であり、状況の中、生徒の個性に応じた早期からの進路指導が一層必要である。	進路指導の意欲を喚起する必要がある。進学やインターンシップの機会を創出し、進路意識を高める必要がある。
生徒指導	落ち着いた生活態度の生徒が大半だが、一部の生徒に基盤的習慣や規範意識の欠如が、社会的な必要事項の理解を妨げている。	授業開始時に頭髪・服装指導を行い、好ましい学習環境づくりを行うとともに、自立に向けた基本的な生活習慣の育成を図る必要がある。
特別活動	1年生の1学期全員の参加による、同宿舎学習や春園祭等による積極的な活動が行われている。	1年生を含む部活動を全教員で指導し、放課後の活動を充実させるとともに、生徒の協調性や積極性を育てるホームルーム活動を行う必要がある。

4 中期的目標

1	学校行事を精選し、授業時間を確保するのと同時に、1時間、1時間の授業の充実を図る。
2	授業や特別活動等を通じ、心の教育に努め、子ども一人ひとりに、マナーや態度を身に付けさせる。基本的な生活習慣の確立を図る。
3	挨拶の励行を促すと同時に、遅刻防止や、時間厳守の態度を身に付けさせる。
4	部活動への加入を促進して、学校生活に意欲をもち、個性の伸長と耐力的な力の向上を図る。
5	国際理解教育を推進して、国際社会に生きる人間としての育成を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 学力の向上	① 綿密な教材研究を行い、積極的に公開授業をするなどして、よりよい授業にする。 ② シラバスを活用して、学習意欲の喚起を図り、計画的・継続的な学習をさせる。
2 基本的な生活習慣の確立	③ 高校生基礎学力向上サポートプランに基づき、基礎学力を定着をさせる。 ④ 頭髪・服装や遅刻防止の指導を徹底して、基本的な生活習慣を確立させる。 ⑤ 登下校時や授業の開始・終了時、校内での挨拶を徹底させる。 ⑥ 年3回の計画的な面談や家庭訪問、スクールカウンセラーとの連携を通して生徒3人に努める。
3 希望する進路の実現	⑦ 計画的な進路指導を実践する。 ⑧ キャンパス・職場見学、インターンシップ等により、進路意識を高揚させる。 ⑨ 資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現をさせる。
4 特別活動及び部活動の活性化と豊かな人間性の涵養	⑩ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒の積極性を引き出す。 ⑪ 生徒の部活動への積極的な参加を促して、望ましい人間関係づくりと充実した放課後の生活を実現させる。 ⑫ 自己の生命を尊重し、他人を思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。
5 地域から信頼される学校づくりの推進	⑬ ホームページや広報紙等を充実して、保護者・地域に対し、積極的に情報を提供する。 ⑭ 評議員や地元中学校等の意見を取り入れ、地域と連携した教育活動を展開する。 ⑮ 計画的に公開授業を実施して、本校に対する地域の理解を図る。